

## 媒体掲載情報

第2回 オーラルプラセンタ医学研究会 講演会の模様が、日本歯科新聞  
2014年6月10日号に掲載されました。



歯科領域でプラセンタの正しい臨床応用の普及を目指すオーラルプラセンタ医学研究会(王理事長)は5月25日、大阪市の大阪大学中之島センターで第2回

### プラセンタ療法の 歯科での応用探る

オーラルプラセンタ医学研究会

講演会を開いた二写真。

王理事長が「歯科医療に未来あるプラセンタ療法」で講演したほか、廣田健副

などの症例報告を行った。

歯科医療では、難治性の歯周病や口内炎、舌痛症、味覚障害などへの有効性が期待されているプラセンタ療法について、王理事長は「基礎、臨床医学的な知識の下、口腔疾患への適応症の選択、内服、注射、投与期間・量、注射後の献血の問題、サプリメントと医薬品の違いなど、正しい情報提供が必要」と強調した。

理事長、杉本圭介氏(兵庫県開業)、長谷川直美氏(東京都開業)がそれぞれ歯周病や口腔不定愁訴、扁平苔癬

講演会には約100人が参加し、質疑応答では、「歯科診療所での導入法」や「投薬中の薬物との副作用」などについて質問があり、関心の高さをうかがわせた。